

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 オーデリック株式会社

コード番号 6889 URL <http://www.odelic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営本部長

(氏名) 吉友高 俊則

TEL 03-3332-1111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	16,028	△9.1	△231	—	△153	—	△366	—
21年3月期第3四半期	17,624	—	26	—	55	—	△20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△60.78	—
21年3月期第3四半期	△3.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	21,560	15,126	70.2	2,510.82
21年3月期	22,754	15,512	68.2	2,574.88

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 15,126百万円 21年3月期 15,512百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	5.00	—		
22年3月期 (予想)				10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,700	△6.8	△360	—	△290	—	△490	—	△81.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 7,611,000株 21年3月期 7,611,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,586,657株 21年3月期 1,586,419株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 6,024,433株 21年3月期第3四半期 6,024,690株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機を背景とした景気低迷が続く中、政府の景気浮揚策等により、一部には景気持ち直しの動きが見られたものの、設備投資の低迷や個人消費の落ち込みなど、引き続き厳しい状況となっております。

当企業グループの業績に大きな影響を与える建設投資においても、やや減少幅は縮小したものの、住宅、非住宅とも着工の低迷が続いております。

このような状況の中、当企業グループにおいては、LED照明器具をはじめとする省エネ型の照明器具新製品を多数発売し、増販を図るとともに、コストダウンや経費削減に努めてまいりましたが、需要低迷による販売数の減少及び競争激化に伴う価格の低下により、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,028百万円(前年同四半期比9.1%減)となり、利益面では、当第3四半期連結会計期間にて利益計上が図れ、損失額が縮小したものの、当第3四半期連結累計期間においては営業損失231百万円(前年同四半期は営業利益26百万円)、経常損失153百万円(前年同四半期は経常利益55百万円)、連結子会社オーデリック貿易株式会社高崎硝子工場閉鎖に伴う事業整理損34百万円を特別損失に計上したこと等により、四半期純損失は366百万円(前年同四半期は四半期純損失20百万円)となりました。

機種別の業績は、次のとおりであります。

なお、当企業グループは、製商品の種類、性質、製造方法、販売市場等類似性から判断して、同種・同系列の各種照明器具を専ら製造販売しておりますので、事業のセグメントごとの業績を金額あるいは数量で記載しておりません。従いまして、業種につきましては機種別の分類区分ごとに金額を記載することとしており、所在地別セグメントにつきましては、全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(白熱灯照明器具)

白熱灯照明器具につきましては、省エネ施策として、本年発行のカタログより白熱灯一般電球搭載照明器具の掲載を大幅に削減し、蛍光灯照明器具やLED照明器具への切り替えを進めております。

この結果、売上高は前年同四半期に比べ20.3%減の3,824百万円となりました。

(蛍光灯照明器具)

蛍光灯照明器具につきましては、住宅用及び施設用の高効率型器具拡販に努めてまいりました。ダウンライト等、白熱ランプから電球形蛍光ランプ搭載器具へのシフトも確実に進んでおりますが、建設投資低迷の影響により増販までには至りませんでした。

この結果、売上高は前年同四半期に比べ4.6%減の9,328百万円となりました。

(高圧放電灯照明器具・その他)

高圧放電灯照明器具・その他につきましては、店舗・施設等の物件受注の減少から特注品の販売が減少いたしました。6月及び10月に新製品を発売し、品揃えを大幅に増やしたLED照明器具の販売は、ダウンライトやアウトドアライトを中心に伸ばいたしました。

この結果、売上高は前年同四半期に比べ5.6%減の2,875百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて1,194百万円減少し21,560百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少494百万円や生産計画見直しによる在庫圧縮によって商品及び製品が471百万円減少したこと等によるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて807百万円減少し6,434百万円となりました。これは主に大幅な生産調整による仕入高の減少に伴い支払手形及び買掛金が649百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて386百万円減少し15,126百万円となりました。これは主に四半期純損失366百万円及び剰余金の配当150百万円があったことに等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、3,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ494百万円減少しました。

各キャッシュフローの状況及び要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は148百万円(前年同四半期は207百万円の増加)となりました。この主な要因は、減価償却費の計上445百万円及びたな卸資産の減少393百万円による資金の増加に対し、税金等調整前四半期純損失346百万円及び仕入債務の減少644百万円により資金が減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は180百万円(前年同四半期は377百万円の減少)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得150百万円により資金が減少したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は164百万円(前年同四半期は298百万円の減少)となりました。この主な要因は、配当金の支払147百万円により資金が減少したこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月6日に開示いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り簿価切下げを行う方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「投資事業組合運用損」は、営業外費用の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「投資事業組合運用損」は1,294千円であります。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,778,276	4,272,858
受取手形及び売掛金	4,051,355	4,142,711
商品及び製品	3,364,266	3,835,841
仕掛品	180,705	179,334
原材料及び貯蔵品	574,942	498,497
その他	399,621	300,888
貸倒引当金	△5,180	△5,100
流動資産合計	12,343,986	13,225,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,457,711	4,668,566
機械装置及び運搬具(純額)	171,806	201,869
土地	2,098,147	2,098,147
その他(純額)	285,028	345,547
有形固定資産合計	7,012,694	7,314,131
無形固定資産		
無形固定資産	1,163,901	1,155,279
投資その他の資産		
投資有価証券	748,117	750,696
その他	314,785	315,107
貸倒引当金	△22,800	△5,312
投資その他の資産合計	1,040,102	1,060,491
固定資産合計	9,216,697	9,529,902
資産合計	21,560,684	22,754,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,854,198	4,503,415
短期借入金	4,296	4,960
未払法人税等	39,135	79,614
賞与引当金	74,690	279,997
その他	874,333	829,135
流動負債合計	4,846,653	5,697,122
固定負債		
長期借入金	33,692	36,914
退職給付引当金	362,162	309,055
役員退職慰労引当金	125,344	117,503
その他	1,066,785	1,081,751
固定負債合計	1,587,985	1,545,223
負債合計	6,434,638	7,242,346

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,105,500	3,105,500
資本剰余金	2,890,655	2,890,655
利益剰余金	10,488,129	11,004,902
自己株式	△1,393,299	△1,393,166
株主資本合計	15,090,985	15,607,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	35,060	△95,303
評価・換算差額等合計	35,060	△95,303
純資産合計	15,126,045	15,512,587
負債純資産合計	21,560,684	22,754,933

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	17,624,382	16,028,947
売上原価	11,012,969	10,116,549
売上総利益	6,611,413	5,912,397
販売費及び一般管理費	6,584,517	6,143,721
営業利益又は営業損失(△)	26,895	△231,323
営業外収益		
受取利息	6,257	403
受取配当金	24,633	19,250
デリバティブ評価益	—	12,162
助成金収入	—	30,635
その他	23,523	28,990
営業外収益合計	54,413	91,441
営業外費用		
支払利息	6,505	4,600
投資事業組合運用損	—	3,101
デリバティブ評価損	10,872	—
その他	8,014	6,001
営業外費用合計	25,392	13,704
経常利益又は経常損失(△)	55,917	△153,586
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,278	—
特別利益合計	1,278	—
特別損失		
固定資産除却損	8,866	11,588
投資有価証券評価損	13,529	146,440
事業整理損	—	34,680
会員権売却損	—	300
特別損失合計	22,395	193,009
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	34,799	△346,595
法人税、住民税及び事業税	67,279	35,490
法人税等調整額	△11,824	△15,926
法人税等合計	55,455	19,563
四半期純損失(△)	△20,655	△366,159

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,375,708	5,734,675
売上原価	3,965,739	3,601,003
売上総利益	2,409,968	2,133,672
販売費及び一般管理費	2,226,926	1,988,411
営業利益	183,042	145,260
営業外収益		
受取利息	1,279	9
受取配当金	1,822	1,586
受取賃貸料	2,277	2,870
デリバティブ評価益	—	2,434
助成金収入	—	22,488
その他	5,537	5,652
営業外収益合計	10,917	35,040
営業外費用		
支払利息	1,956	1,249
デリバティブ評価損	3,650	—
その他	927	—
営業外費用合計	6,534	1,249
経常利益	187,425	179,051
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,070
特別利益合計	—	1,070
特別損失		
固定資産除却損	7,826	7,650
投資有価証券評価損	13,529	13,695
事業整理損	—	34,680
特別損失合計	21,356	56,026
税金等調整前四半期純利益	166,068	124,095
法人税、住民税及び事業税	30,812	△1,336
法人税等調整額	58,734	1,272
法人税等合計	89,546	△63
四半期純利益	76,521	124,158

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	34,799	△346,595
減価償却費	475,248	445,221
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,305	17,567
受取利息及び受取配当金	△30,890	△19,653
支払利息	6,505	4,600
デリバティブ評価損益(△は益)	10,872	△12,162
固定資産除却損	8,866	11,588
事業整理損失	—	34,680
投資有価証券評価損益(△は益)	13,529	146,440
売上債権の増減額(△は増加)	184,788	91,355
たな卸資産の増減額(△は増加)	△794,664	393,760
仕入債務の増減額(△は減少)	432,737	△644,137
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,334	53,107
その他	△117,329	△251,908
小計	229,491	△76,136
利息及び配当金の受取額	30,770	19,544
利息の支払額	△1,662	△809
法人税等の支払額	△51,584	△91,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,014	△148,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,002	—
定期預金の預入による支出	△1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△325,919	△150,311
無形固定資産の取得による支出	△51,766	△32,235
その他	—	1,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377,683	△180,760
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	43,000	—
長期借入金の返済による支出	△44,660	△3,886
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,469	△13,485
自己株式の取得による支出	△101	△133
配当金の支払額	△288,544	△147,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	△298,775	△164,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△469,444	△494,585
現金及び現金同等物の期首残高	4,073,503	3,971,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,604,059	3,477,273

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。